

保全協会は公益社団化初の2012年度通常総会を5月26日に中央区のエル・おおさかで開催し、役員選挙後に中断して開いた理事会で、今回理事も勇退した高田直俊前会長の後任に夏原由博副会長（名古屋大学大学院教授）を選任し、総会に報告しました。また副会長には金谷薫理事を再選し、新理事には、ともに自然観察インストラクター養成講座修了生の大塚陽一、田中秀雄の両氏を選任、他の理事13名、監事2名を再任しました。さらに、11年度の事業報告を行い、11年度の財務諸表等および12年度の事業計画書と収支予算書をそれぞれ承認しました。出席は正会員269名のうち会場30名、委任など書面164名の計194名。議長は新保満子氏（元理事）が務めました。

高田前会長は協会設立当初からの唯一の理事で、1987年から副会長、2000年から会長を務めました。夏原会長は2004年5月から理事、昨年から副会長。勤務は大阪府立大学、京都大学を経て現職です。

以下、事業計画の要点などを紹介します。

1.事業計画

1.公益目的事業

(1)自然環境調査研究事業

1)野生シカ調査

今年度は第3期シカ保護管理計画の初年度となり、府の野生シカ調査はこのなかで継続される。野生シカ調査会は、今期も継続して地域個体群の調査、生息域、森林生態系への影響などの調査を行う。

2)高槻本山寺周辺域の森林保全

高槻市の大阪府自然環境保全地域の特別地区である本山寺のモミ・ツガ・アカガシ林がシカによる採食圧を受けており、その防除、調査、保全について行政・地元を交えて取り組む方向で検討を進める。

3)特定自然保護活動の調査

特定自然保護活動推進資金制度を継続し、以下の調査系事業を実施する。

- ①太子人工林間伐地の地図作製
- ②里山指標生物調査マニュアルの作成

4)その他

- ①堺南部丘陵（東西道路）植生調査
- ②万博記念公園野生生物生息調査
- ③環境省モニタリングサイト1000穂谷里地調査コーディネート
- ④モニ1000準備サイトの鉢ヶ峯（植物相、堺自然観察会）と紫金山公園（植物相・鳥類・チョウ類、吹田自然観察会）
- ⑤里山一斉調査
- ⑥土地トラスト活動
- ⑦研究・報告集「スタディファイルNO6」の発行

(2)自然環境保護保全活動事業

1)里山保全

荒れた里山である針葉樹人工林の間伐や竹が侵入・拡大した森林の竹の除去作業をはじめ、地域における里山保全活動を以下の通り行う。

- ①太子町葉室里山クラブ
- ②太子人工林間伐隊
- ③妙見里山倶楽部
- ④野崎・飯盛の山と緑を保全する会
- ⑤紫金山みどりの会
- ⑥穂谷里山保全チーム

2)里地里山・自然系公園の保全活動と支援

- ①和泉市信太山の草地・湿地をスポーツ施設建設から保護する地元活動団体である「信太山に里山自然公園を求める連絡会」に引き続き参画し支援する。
- ②堺市鉢ヶ峯の里山林における土砂処分地建設に反対している地元団体を支援する。
- ③烏帽子形公園の国史跡整備



磯の観察会（加太海岸 城ヶ崎の磯 写真：田中広樹）



セミ羽化観察会(元茨木川緑地 写真：大塚陽一)

計画に関して、自然環境を保護保全する対応を推進する。

3)共生の森づくり

堺第7-3区産業廃棄物処分場で大阪府が実施している「共生の森づくり活動協働事業」に継続して協力し、植樹や苗木づくり、植栽木の生長調査などに取り組む。従来のスタッフ派遣にとどまらず、協会としての共生の森チームづくりを進める。

4)ビオトープ（野生生物生息空間）づくり

都市圏における自然ふれあい活動、自然環境の回復創出を進めるため、学校・園などにおけるビオトープづくりを継続し、それらの活用による自然環境学習に取り組む。

(3)自然環境保護保全の人材養成・普及啓発事業

1)人材養成講座の開催

保全活動のための人材養成および市民への自然保護思想の普及のため各種講座を開催する。また、主催講座をまとめて紹介するパンフレットを作製、配布する。

- ①第37期ナチュラリスト入門講座
- ②第22回自然観察インストラクター養成講座
- ③2012年度春秋自然かんさつ塾
- ④第10期自然環境市民大学
- ⑤里山step-up研修
- ⑥プロジェクト・ワイルド エducater養成講習会

2)自然観察会・自然体験の開催

地域観察会およびテーマ観察会を以下の通り開催する。また、主催自然観察会等をまとめて紹介するパンフレットを作製、配布する。

- ①百樹会
- ②堺自然観察会
- ③吹田自然観察会
- ④服部緑地自然を楽しむ会
- ⑤えぼしがた公園自然観察会
- ⑥おもしろ自然たいけん隊
- ⑦枚岡ネイチャークラブ
- ⑧淀川自然観察会
- ⑨海の観察会
- ⑩みんなでかんさつ隊
- ⑪枚方しぜんハイキング
- ⑫大和川自然観察会
- ⑬泉北自然を楽しむ会
- ⑭茨木・高槻自然に親しむ会
- ⑮堺2区自然観察会
- ⑯うみがめ観察会
- ⑰エコツアー
- ⑱「空の会」自然観察会
- ⑲まち中公園自然観察会

3) 烏帽子形公園の自然保護のための自然観察ガイド作成（特定自然保護活動推進資金制度による）

4)講師・スタッフ派遣事業

行政やその関係機関、図書館、民間事業団体などが主催する自然環境保全に関する講座や講演、自然観察・体験の指導などの普及行事、および里山保全やその指導者養成に関する講座や技術的指導などに、講師・スタッフを派遣する。

5)会報誌「都市と自然」の発行

保全協会が大阪における自然保護運動のセンターであるという位置づけのもと、保全協会内外に送付し自然保護・保全運動の伝達を重視する。

2.組織・運営の充実

(1)公益法人の維持運営

- ①公益社団法人大阪自然環境保全協会の新しい定款の周知に務める。
- ②公益社団法人として、公益法人への移行を認定された諸条件を堅持し、新しい法人の事業に取り組めるよう組織・財務会計・事業内容などの点検を継続する。
- ③公益法人運営のため「特定資産」として購入した国債の利回りを公益目的事業に充てる。

(2)ホームページ（HP）の運営

「都市と自然」の記事の一部をHPにも掲載するなど、直近の保全活動に関する情報発信機能を強める。

(3)自然環境保護保全の経常活動

- 1)タンポポ調査・西日本2010の参加府県事務局に呼びかけて、2015年調査に向けての準備を始める。
- 2)水生生物調査研究会の継続
- 3)都市公園自然調査研究会の継続
- 4)里山指標生物調査の継続と里山指標生物マニュアルの作成
- 5)環境倫理談話会の継続
- 6)主な開発問題への取り組み
彩都開発・余野川ダム建設／安威川ダム建設／国際文化公園都市開発／第二名神高速道路建設など、自然環境を損なう事業に対応する運動の継続。中止になった槇尾

2011年度 正味財産増減計算書

2011年4月1日から2012年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	5,105,500	5,321,000	-215,500
事 業 収 益	31,594,342	24,386,717	7,207,625
受 取 補 助 金 等	2,249,972	985,134	1,264,838
受 取 寄 付 金	2,029,719	1,800,231	229,488
販 売 物	65,750	137,400	-71,650
雑 収 益	675,954	868,601	-192,647
受 取 利 息	9,236	55,232	-45,996
有 価 証 券 利 息	443,410	139,782	303,628
経常収益計	42,173,883	33,694,097	8,479,786
(2) 経常費用			
事 業 費	34,490,836	31,897,125	2,593,711
補 助 金 支 出	1,491,089	476,010	1,015,079
管 理 費	3,803,808	4,237,221	-433,413
雑 損 失	1,092,300	5,260	1,087,040
経常費用計	40,878,033	36,615,616	4,262,417
評価損益等調整前当期経常増減額	1,295,850	-2,921,519	4,217,369
投資有価証券売却損益等	0	610,600	-610,600
評価損益等計	0	610,600	-610,600
当期経常増減額	1,295,850	-2,310,919	3,606,769
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,295,850	-2,310,919	3,606,769
一般正味財産期首残高	76,767,212	79,078,131	-2,310,919
一般正味財産期末残高	78,063,062	76,767,212	1,295,850
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	78,063,062	76,767,212	1,295,850

2012年度 収支予算書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

科 目	予算額	前年度予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	5,400,000	5,400,000	0
事 業 収 益	21,200,000	24,930,000	-3,730,000
受 取 補 助 金 等	7,825,000	600,000	7,225,000
受 取 寄 付 金	1,900,000	850,000	1,050,000
雑 収 益	650,000	650,000	0
受 取 利 息	540,000	440,000	100,000
経常収益計	37,515,000	32,870,000	4,645,000
(2) 経常費用			
事 業 費	26,063,000	28,568,600	-2,505,600
補 助 金 支 出	7,705,000	480,000	7,225,000
管 理 費	3,747,000	3,821,400	-74,400
経常費用計	37,515,000	32,870,000	4,645,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	78,063,062	76,767,212	1,295,850
一般正味財産期末残高	78,063,062	76,767,212	1,295,850
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	78,063,062	76,767,212	1,295,850

川ダム事業の代替治水策策定への協力。

7)近畿圏のダム問題の無駄・有害な事業中止運動の支援・継続

II. 役員の変更

今回の改選を機に、理事では高田前会長のほか杉本博、飛田太一郎、安富俊晴の3氏も退任しました。皆さんお疲れさまでした。総会後には、高田前会長に夏原新会長から記念品が贈られ、大塚、田中秀雄の両新理事が挨拶しました。選任された全役員は次の通りです。

【理事】夏原由博（代表理事・会長）／金谷薫（代表理事・副会長）／（以下理事）上田宏／大塚陽一／岡秀郎／岡和田齊／加賀まゆみ／木村進／栗谷至／高畠耕一郎／田中秀雄／田中広樹／田淵武夫／野田奏栄／早川篤／道下雄大／宮本義人

【監事】新居誠一郎／岩井義清

◆環境創作落語を披露

今回の総会の休憩中には、協会枚岡ネイチャークラブ代表で社会人落語家の「花の家ケイトウ」こと岩久ケイ子さんに、創作エコ落語

「セミ羽化観察会」を演じていただきました。セミが羽化する“心得”や観察会での人模様などが面白おかしく噺にのせられ、総会も一変、寄席ムード。出席者から何度も笑いが飛んでいました。



「エコ落語」を熱演中の花の家ケイトウさん